

令和4年度  
事業計画書  
収支予算書

令和4年6月13日（月）



栗原市農泊推進協議会

## ～ 目 次 ～

<b>I 事業報告</b> .....	<b>2</b>
<b>1 目的</b> .....	<b>2</b>
<b>2 実施事業</b> .....	<b>4</b>
(1) ネットワーク化・コミュニケーションの実践 .....	4
(2) 創業支援 .....	5
(3) 体験プログラム創出 .....	5
(4) 食のコンテンツ開発 .....	6
(5) サイクルツーリズム推進 .....	7
(6) PR .....	7
(7) 地域おこし協力隊 .....	7
(8) 会員のサポート .....	8
(9) その他 .....	8
<b>3 実施体制</b> .....	<b>9</b>
<b>II 収支予算</b> .....	<b>10</b>
<b>1 収入の部</b> .....	<b>10</b>
<b>2 支出の部</b> .....	<b>10</b>
<b>3 予算流用・資金調達の特記事項</b> .....	<b>10</b>

# I 事業計画

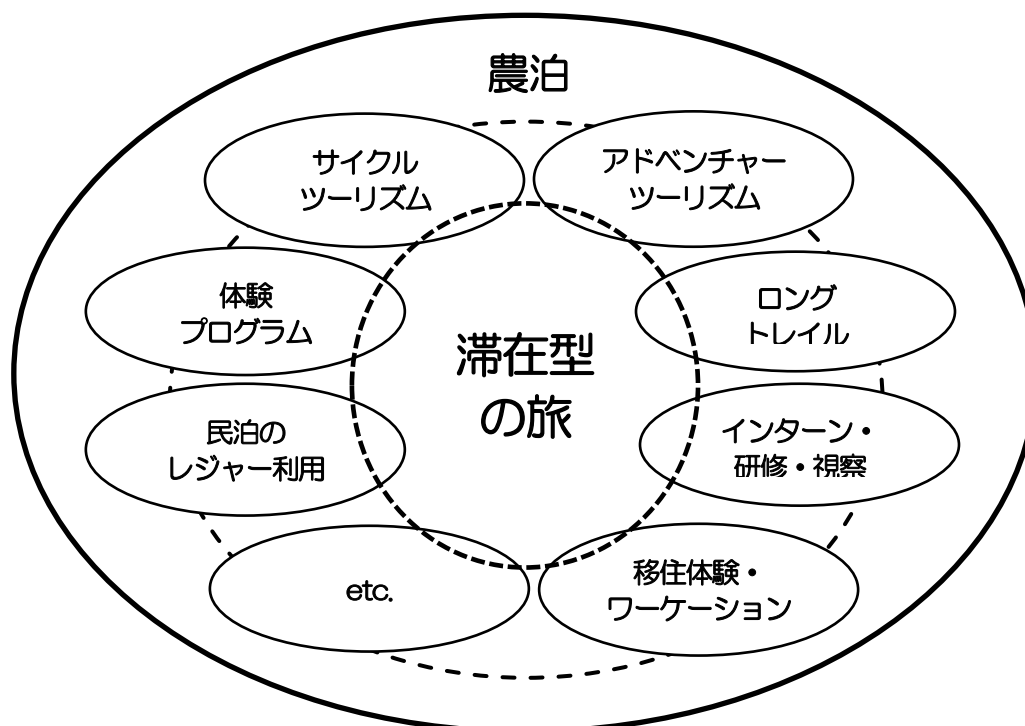
## 1 目的

本会の目的である「栗原市の地域資源を活用した滞在型の旅の創出」を実現するため、ツアープログラムの実践やアクティビティ開発、必要な物品の調達等に取り組みながら、会員のネットワークを生かした創業支援、食のコンテンツ開発、会員の事業との連携に取り組んでいく。また、資金調達は、公益性の高い事業性を生かし、行政・民間の補助事業等を積極的な活用に取り組む。

### (1) 滞在型の旅の創出

滞在型の旅を創出するため、コロナ禍に対応した来訪する動機（テーマ）をより多く生み出し、来訪者の動線をデザインする。

具体的には、ロングトレイルやサイクルツーリズムを取り入れたアドベンチャーツーリズムの体験プログラム、大学生向けの課題解決型合宿や民泊の活用等、様々な会員と連携しながら、多様な動線の創出に取り組む。



### (2) 創業支援

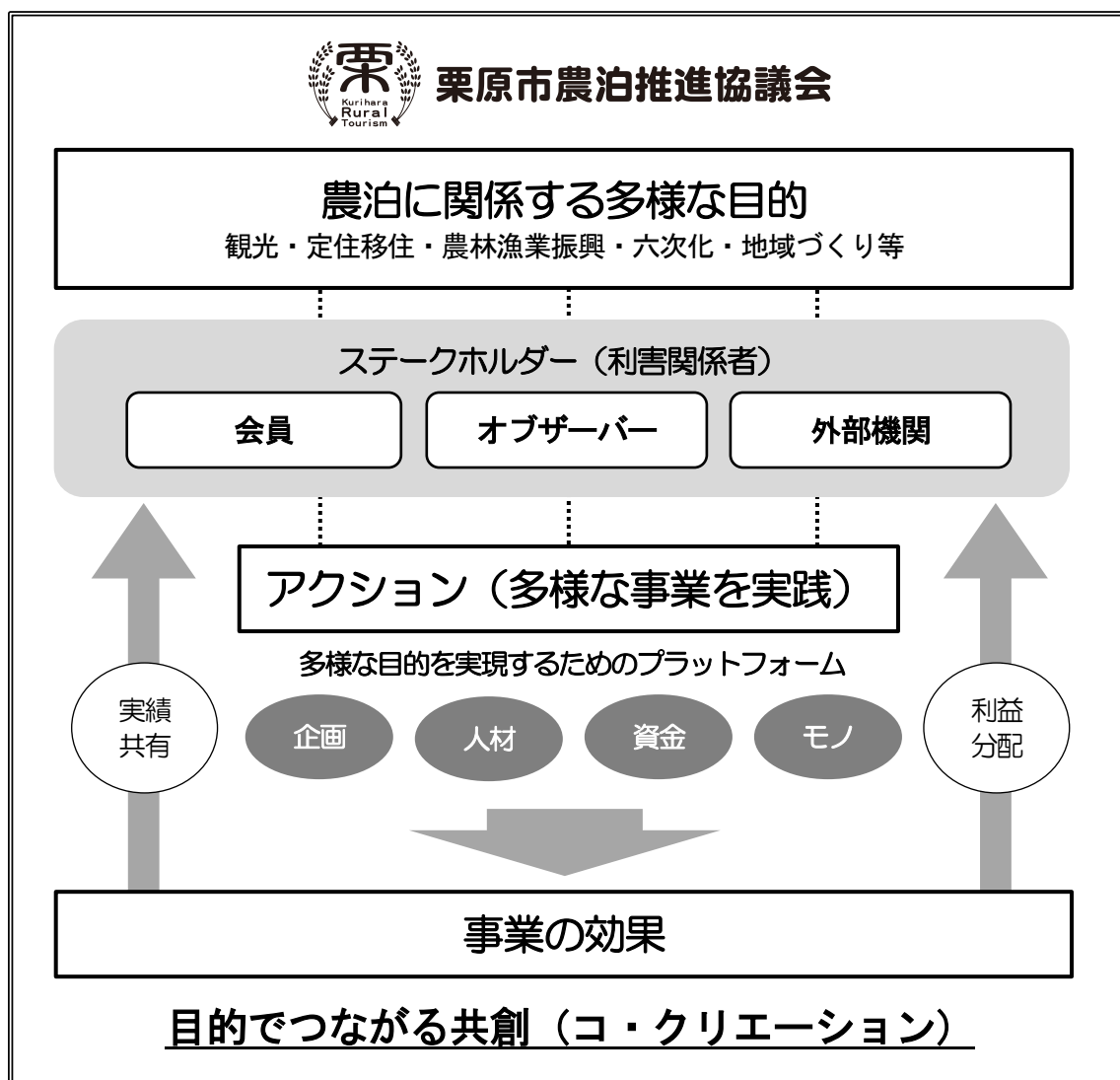
個人・法人に幅広く、宿泊・飲食事業に関する開業のサポートとして、個別での法令相談や開業講座等の学びの機会を創出し、多様な開業のパターンに対応する。開業検討者宅での開業前のモニター受入と通して、より実践的な開業イメージをもってもらえるようにする。また、既存の事業者に関しての運営サポートや、機会創出に取り組む。

### (3) 食のコンテンツ開発

農泊の推進において、「食」は重要なコンテンツである。これまでに行ってきた飲食店フェアやテロワージュイイベント開催等の農産物の販売促進の取組みをもとに、栗原の農産物を活用したアウトドア飯のレシピ開発や地元食等にスケールを広げ、食に関するコンテンツの開発に取り組む。

### (4) 地域のプラットフォーム

農泊推進は、観光・定住移住・農林漁業振興・六次化・地域づくり等の多様な分野が関係する。栗原市農泊推進協議会は、農泊推進だけではなく、多様な分野の目的を達成するため、地域の多様なステークホルダーが共創（コ・クリエーション）を実践する土台・基盤となり、プラットフォームとしての機能を発揮することを目指す。



- プラットフォーム：サービスやシステム、ソフトウェアを提供・カスタマイズ・運営するために必要な「共通の土台（基盤）となる標準環境」を指します。パソコンでいえば、パソコン本体やウィンドウズなどのOSと言えます。
- ステークホルダー：企業・行政・NPO等の利害と行動に直接・間接的な利害関係を有する者を指します。
- 共創（コ・クリエーション）：多様な立場の人たちが、利害関係のあるステークホルダーと対話をしながら新しい価値を「共に」「創る」こと。

## 2 事業概要

### (1) ネットワーク化・コミュニケーションの実践

#### ①部会の開催

##### 【運営部会】

協議会の運営の検討や、事業や助成金等の情報共有のため開催する。主に Facebook グループページを利用したコミュニケーションを実践する。

##### 【宿泊部会】

宿泊事業者の運営サポートとネットワーク化をはかり、情報共有等を行う。

##### 【サイクルツーリズム部会】

サイクルツーリズムを推進するために必要な事業を関係者と協議するために開催する。特に、レンタサイクル事業の仕組みづくりを協議する。

##### 【その他の部会】

関係者の調整や協議が必要な案件が発生した場合は、規約第8条の規定により、会長の判断で柔軟に部会を設置し、協議を進める。

#### ②その他

##### 【会員、関係機関とのミーティング】

農泊事業に関係する案件を協議するため、随時、会員やオブザーバー、関係者等とのミーティングを実施する。

##### 【長屋門コミュニティの形成（長屋門の保存と活用）】

栗原市内に500軒以上ある長屋門を保存・活用するため、長屋門オーナーや利用者、研究者、ファン等のコミュニティを形成し、長屋門の保存・活用に関する事業に取り組む。

- ・長屋門オーナー、ファン等のネットワーク化
- ・活用方法の調査
- ・ツアーコースの作成
- ・パンフレット作成
- ・長屋門を活用したテロワージュの開催 など

### (2) 創業支援

#### ①創業サポート

創業希望者の法令相談による創業サポートや、セミナー開催等に取り組む。

(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク・地域おこし協力隊 狩野夏穂)

#### ②農泊ホームステイ事業

宿泊事業の開業準備者がオペレーションや施設の整備等を検証するために、ホー

ムステイとして実験的に宿泊者を受け入れる。

(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク・地域おこし協力隊 狩野夏穂)

③運営サポート

宿泊・飲食事業者の運営をサポートする。

(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク・地域おこし協力隊 狩野夏穂)

④長屋門ステイ Project

(一社)くりはらツーリズムネットワークが所有する長屋門を宿泊施設化する。東京大学林憲吾研究室との共同プロジェクトで、改修に向けた実験等を行う。宿の運営方針の協議、付随イベントを開催する。

(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク・地域おこし協力隊 狩野夏穂)

⑤応急手当講習会

応急救護の手当の訓練プログラム「MFA (メディック・ファーストエイド)」の講習。成人の救命法 (CPR や AED) と救急法 (一般的な応急手当) を身につける。

(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク・地域おこし協力隊 狩野夏穂)

⑥その他

栗原市のおてつたび等の定住・移住事業、他機関が実施する農泊関連事業と連携する。

(3) 体験プログラム創出

①体験プログラムの開発・実施

滞在型の旅行を創出するため、アクティビティの柱として体験プログラムを年間通じて創出する。

(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク・地域おこし協力隊 狩野夏穂)

②宿泊プラン作成・販売

アドベンチャーツーリズム、栗駒山麓ジオトレイル等のアクティビティ、農村体験等の宿泊プランの作成・販売を行う。

(一般社団法人栗原市観光物産協会)

③くりはら地域課題解決合宿 (仮)

市外の学生を招き、企業や地域から提示された課題を解決するためのアイデア出し合い、最終日にコンペを行う。市内に滞在しながら、フィールドワークやワークショップを行う。

(合同会社くりはらファーマーズラボ・地域おこし協力隊 小野寺春香)

#### (4) 食のコンテンツ開発

##### ①『地元食の本』制作

『地元食の本』の増補版を作成するため、メニューの編集やレシピの試作、写真撮影に取り組む。

(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク・地域おこし協力隊)

##### ②アウトドア飯のレシピ開発

旅行者がセルフガイドでアドベンチャートラベルを楽しむためのアウトドア飯の開発に取り組む。専門家による食材等の調査、メニューの試作に取り組む。

(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク・地域おこし協力隊)

##### ③くりはら食材を使ったメニュー開発(仮)

仙台カフェ・パティシエ専門学校とのコラボ授業で、現地のフィールドワークを交えながら、栗原産の食材を使ったメニュー開発を行う。

(合同会社くりはらファーマーズラボ・地域おこし協力隊 小野寺春香)

##### ④テロワージュくりはら

「栗原産の食材×シェフ×お酒」のマリアージュを楽しむツアーを開催する。今年度は市内の農場近くで開催し、食材の生産現場を知ってもらう。

(合同会社くりはらファーマーズラボ・地域おこし協力隊 小野寺春香)

##### ⑤くりはら秋の大収穫祭(生産者×飲食店フェア)

県内飲食店で栗原の食材を活用した限定メニューが味わえるフェアを開催する。農業体験や現地ツアー、農産物PR冊子の制作・配布も合わせて実施する。

(合同会社くりはらファーマーズラボ・地域おこし協力隊 小野寺春香)

##### ⑥くりはら食材を使った加工品開発

シェフとコラボし、栗原産の農産物等を使用したソース等の加工品の開発を行う。

(合同会社くりはらファーマーズラボ・地域おこし協力隊 小野寺春香)

#### (5) サイクルツーリズム推進

##### ①くりくりサイクリングくらぶ

E グラベルを活用したアドベンチャーサイクリング等のイベントを実施する。

(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク)

##### ②ツール・ド・いちはさま 2022

栗原の食や自然に触れるサイクルイベントを実施する。

(くりはらファーマーズプロジェクト・一般社団法人栗原市観光物産協会)

③レンタサイクル

サイクルツーリズムを活用して地域経済を活性化させるため、くりこま高原駅や栗駒山麓ジオパークビジターセンター等を拠点に、自転車のレンタルを実施する。  
 なお、具体的な運営方法等はサイクルツーリズム部会で協議する。

(一般社団法人栗原市観光物産協会)

④サイクリングマップ作成

e ミニベロ設置施設の団体と連携しながら、設置場周辺やエリアの情報を掲載したサイクリングマップを作成する。

(一般社団法人栗原市観光物産協会・地域おこし協力隊 狩野夏穂)

(6) PR

①旅のサポートデスク(仮称)

来訪者をサポートするサービスの提供をする。スマートフォンアプリ「LINE」を使い、会員コンテンツの集客支援、受付代行、予約、販売代行等を行う。

(一般社団法人栗原市観光物産協会)

②OTAサイト登録・販売代行

市内の民泊施設等のサポートとして、主要なOTAサイトへの登録と販売の代行を行う。

(一般社団法人栗原市観光物産協会)

③サイクリングマップ作成

e ミニベロ設置施設周辺や、エリアのサイクリングマップを作成する。

(一般社団法人栗原市観光物産協会・地域おこし協力隊 狩野夏穂)

④SNS (Facebook)

Facebook ページを運営し、取組みをPRする。

⑤その他

他機関や報道機関への情報提供等を行う。

(7) 地域おこし協力隊

栗原市が任用した地域おこし協力隊(農泊推進担当)と協力し、各事業を実施する。

氏名	主な担当事業	任期(予定)	備考
狩野 夏穂	・体験型コンテンツの企画、開発 ・人材育成(宿泊等事業者)、支援	令和元年10月 ～令和4年9月	一般社団法人くりはら ツーリズムネットワーク
小野寺 春香	・食のコンテンツ開発	令和4年4月 ～令和7年3月	合同会社くりはらファーマーズラボ



## (8) 会員のサポート

### ①オンライン配信の支援 ※会員向け

協議会で保有しているカメラ（web カメラ、ビデオカメラ等）等の機材とオンライン配信のノウハウを会員に提供し、会員のオンライン配信を支援する。

### ②機材の貸出

- ・プレゼンテーション機材（プロジェクター・スクリーン）
- ・オンライン配信用機材（web カメラ、ビデオカメラ、三脚、LAN ケーブル等）

### ③その他

他機関や報道機関への情報提供等を行う。また、会員や関係機関が実施するイベント等の開催を支援する。

## (9) その他

### ①受託事業（予定）

#### (i) 栗駒国定公園を「歩く旅」でサステナブルツーリズム創出 自然体験プログラム等実施業務

- ・委託者：栗駒山麓ジオパーク推進協議会      ・受託金額：2,113,760 円
- ・主な業務：自然体験プログラム実施（4回）、ウェブサイト整備、セミナーのオンライン配信
- ・備考：環境省「令和3年度（補正予算）国立・国定公園の利用拠点の魅力創造による地域復興推進事業」を活用

#### (ii) 地球をでっかく遊ぼう！アドベンチャートラベル創出事業 アドベンチャープログラム開発業務

- ・委託者：一般社団法人栗原市観光物産協会      ・受託金額：4,020,698 円
- ・主な業務：アドベンチャープログラム造成販売・実施（5回以上）
- ・備考：観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」を活用

### ②その他

その他、協議会の目的を達成するため、柔軟に事業を実施する。

### 3 実施体制

#### (1) 中核法人を中心とした主体事業

中核法人（一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク）の実施する事業を協議会の主体事業（主催）として実施する。

#### (2) 会員主体の事業実施

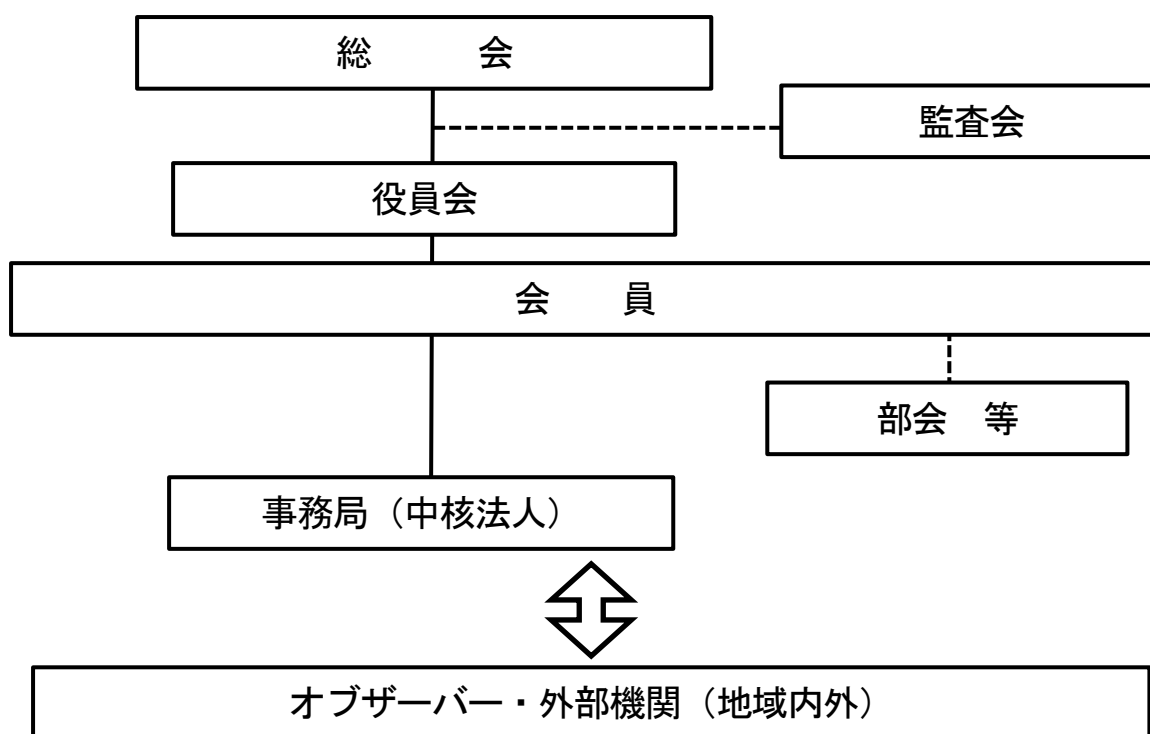
会員が実施するもので農泊推進事業に合致するものを協議会の事業（主催・共催・協賛・協力等）として実施し、中核法人等を含む会員が連携・協力する。

#### (3) 部会の設置による専門分野の特化

規約第8条の規定により、特定の事項を協議及び企画する部会等を開催する。会長の判断で柔軟に部会を設置し協議を進める。

#### (4) 外部機関との柔軟な連携

地域内外の関係機関と柔軟に連携する。



## II 収支予算

収入の部	6, 510, 000円
支出の部	6, 510, 000円
差引残金	0円

### 1 収入の部

(単位：円)

No.	項目	前年度決算	予算	差引	摘要
1	補助金	6,299,000	0	△6,299,000	
2	負担金	0	0	0	
3	事業収入	2,590,829	6,500,000	3,909,171	受託業務等
4	借入金	0	0	0	受託事業
5	雑入	0	407	407	預金利子等
6	繰越金	22,093	9,593	△12,500	前年度より
	計	8,911,922	6,510,000	△2,401,922	

### 2 支出の部

(単位：円)

No.	項目	前年度決算	予算	差引	摘要
1	人件費	4,042,848	0	△4,042,848	人件費
2	需用費	3,053,536	150,000	△2,903,536	消耗品
3	使用料・賃借料	0	10,000	10,000	会場使用料等
4	委託費	0	5,850,000	5,850,000	委託費用
5	報償費	1,773,861	450,000	△1,323,861	講師謝礼、受入謝礼
6	役務費	22,314	25,000	2,686	切手代等
7	旅費	0	20,000	20,000	打合せ等
8	租税公課費	200	1,000	800	収入印紙等
9	借入金返済	0	0	0	
10	雑費	9,570	4,000	△5,570	振込手数料等
	計	8,902,329	6,510,000	△2,392,329	

### 3 予算流用・資金調達の特記事項

- (1) 予算区分の流用は補正予算を必要とせずに会長の判断で執行できるものとする。
- (2) 予定している資金調達手段のほか、年度途中に発生した補助金申請等の資金調達は、補正予算を必要とせずに会長の判断で執行できるものとする。
- (3) その他、特に重要な予算流用・資金調達に関しては、会長が役員会に諮り執行するものとする。

令和4年度  
事業計画書  
収支予算書



**栗原市農泊推進協議会**

(事務局) 一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク  
〒989-5504 宮城県栗原市若柳上畑岡敷味 45 番地  
Tel. 090-4889-5310  
Email kurihara.tn@gmail.com